

第11回大町エネルギー博物館講演会 「宇宙県から見上げる星空」



2025年11月1日(土)

午後1時30分 ～ 3時

会場 大町エネルギー博物館
(大町市平2112-38)

入場無料予約制(定員40名)
申込 TEL 0261-22-7770
10/28(火)〆切

紫金山・アトラス彗星(C/2023 A3)と野辺山ミリ波干渉形

みなさん、「長野県は宇宙県」と呼ばれているのをご存じですか？長野県は空気が澄んでいて、星空がとてもきれいに見える場所です。県内には、野辺山の電波観測所や木曽のシュミット望遠鏡など、全国的にも有名な天文研究施設があります。また、各地にプラネタリウムや天文同好会があり、多くの人が星空を楽しんでいます。ここ大町市にも「大町エネルギー博物館」があり、その「友の会 フォーマルハウト(天文とプラネタリウム同好会)」のように、市民の手で天文の観測や普及活動を行っているグループがあります。こうした活動が、長野県の“星空文化”を育ててきたのです。では、その文化はどのように生まれ、これからどう発展していくのでしょうか。今回は、そんな“星空と人とのつながり”をテーマに、これから見頃を迎える秋の星座、話題のレモン彗星(C/2025 A6)、そして、いま輪が極端に細く見える土星など、旬の天文トピックも交えてお話しします。

～ 講師 「大西浩次(おおにしこうじ)」 プロフィール ～

1962年富山県生まれ、長野市在住。博士(理学)。長野工業高等専門学校リベラルアーツ教育院教授。国際天文学連合会員、日本天文学、日本星景写真協会理事、「長野県は宇宙県」連絡協議会会長ほか。系外惑星探査や「市民科学」と天文文化の研究を行っている。いま、「長野県は宇宙県」を合言葉として、多くの人々と共に、天文文化を創る活動を行っている。現在、毎日小学生新聞にて「ガリレオ博士の天体観測図鑑」を連載中。